胃がん検診（胃バリウム検査、胃内視鏡検査）

・胃バリウム検査受診券と胃内視鏡検査受診券は、過去2年間で受診した方に自動発送します。

・新規または2年間受診のない方で受診を希望される方は2ページの「受診券の発行依頼方法」をご確認のうえ、受診券の発行依頼をしてください。**（内視鏡の受診券申込期限は2026年2月28日まで）**

・胃バリウム検査と胃内視鏡検査を併用して受診することはできません。

・胃バリウム検査から胃内視鏡検査、胃内視鏡検査からバリウム検査に変更したい方は、保健センター健康支援課健診担当までご連絡ください。

①胃バリウム検査　集団会場

＊検査方法　発泡剤で胃を膨らませ、バリウムを飲んでレントゲン撮影をする検査

＊対象　40歳以上　※前年度に胃内視鏡検査を受診した方は対象外です。

＊負担金　６００円（※無料になる場合あり、P. 2参照）

精密検査となった場合（保険診療）

①胃内視鏡検査：口または鼻からカメラを入れて撮影する方法

②生検：組織を採取し、顕微鏡で調べる方法

②胃内視鏡検査　医療機関

＊検査方法　胃カメラを口または鼻から挿入し、胃の観察を行う検査

＊対象者　**50歳以上偶数年齢の方のみ**

※年度末（2026年3月31日時点）の年齢が偶数の方のみが受診できます。

＊負担金　1,５００円（※無料になる場合あり、P. 2参照）

＊注意　・胃内視鏡検査で組織検査やピロリ菌検査をすることがあります。その場合は、一部自己負担金とは別に、保険診療分の負担金が発生しますので**必ず健康保険証（マイナンバーカード）を持参してください。**

【必ずご確認ください】

・以下に該当する方は胃内視鏡検査を受診できません。

①胃内視鏡検査の実施に関する同意書に同意が得られない方　②妊娠中の方、またはその可能性がある方

③疾患の種類にかかわらず、入院中の方　④胃の病気で通院中、治療中、経過観察中の方

⑤胃を全摘出された方　⑥胃内視鏡の挿入ができない方

⑦呼吸不全のある方　⑧出血しやすく、血が止まりにくい方

⑨急性心筋梗塞や重篤な不整脈などの心疾患のある方　⑩血圧が極めて高い方

※上記以外にも、当日の体調などにより医師が検査困難と判断した場合は検査をお断りする可能性があります。その他、ご不明な点は主治医または申込み先の医療機関にお問合せください。

・市川市の胃内視鏡検査では、鎮痛剤（痛み止め）・鎮静剤（眠くなる薬）を使用できません。鎮痙剤（胃の動きを抑える薬）は各医療機関の判断で使用する場合があります。

＊検査前の注意事項

①検査前日の食事は、検査開始の１２時間前までにとってください。それ以降の食事は禁止ですが、水または白湯は検査直前まで飲んでも構いません。飲水量に制限はありません。

②喫煙は検査に支障が出る場合がありますので避けてください。

③検査当日に服薬が必要な薬（降圧薬など）は、検査開始の３時間前までに内服してください。服薬に不安がある方は主治医にご相談ください。

④以下の偶発症が起きる可能性があります。

・胃内視鏡により粘膜が傷つくことや、出血、穿孔（穴が開くこと）

・組織検査による出血、穿孔

・薬剤によるアレルギー（呼吸困難、血圧低下など）

・検査前からあった疾患の悪化（症状の出ていなかった疾患も含む）

※検査終了後、何らかの異変を感じた場合には、受診した医療機関に相談してください。